

アーバンシステム環境通信

NO.19

2007年9月21日

遺伝子組換え作物の環境への影響

○ 遺伝子組換え作物って何？

植物の遺伝子（DNA）の中に人為的に他のDNAを組み込む遺伝子組み換え技術により、自然状態では存在しない新しい性質を付加した作物のことです。除草剤をまいても枯れないようにした作物や、害虫に対する抵抗性を持たせた作物があるほか、殺虫作用を持たせた作物もあります。現在、様々な作物で開発・市場化が進み、直接的・間接的に食卓にのぼっています。また、第二世代といわれる栄養価等の付加価値をつけた作物の研究も進められています。

○ 環境への影響は？

科学者の中には食品として安全性よりも環境への影響が重大な問題であると危惧する人もいますが、実際の影響については未知数の部分が多く、「わからない」というのが現状です。一方、農薬や除草剤の使用を抑えることができるといった見方もできます。

○ 最後に・・・

世界の食糧問題は環境問題とともに深刻で、毎日約2万5千人が餓死しているとされています。遺伝子組換え技術の発達は、食糧問題解決の一端を担うことができる可能性を秘めているばかりでなく、環境への負荷の軽減を実現することができます。一般に環境と健康に良いと考えられている有機農業はその安全性や収量の低さなど問題点も指摘されています。食と環境への影響について考える上で、まずは自分が食すものに対して興味を持つことから始めてみませんか？



遺伝子組み換え作物のメリット

- ・ 収穫量の増加
- ・ 雑草防除・害虫駆除の簡便化
- ・ 農薬の種類や使用量の削減
- ・ 環境にやさしい農業の実現（不耕起栽培など）
- ・ 農業生産コストの削減
- ・ 食品や飼料の品質向上

【参考文献】

- ・ 環境 goo ; http://eco.goo.ne.jp/business/csr/navi/020214_01.html
- ・ 日本モンサント株式会社 ; <http://www.monsanto.co.jp/biotech/index.shtml>

記者：小泉武士